

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第168号(通巻第235号)

2018年11月30日発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

■平成30年度「初任者元気アップ講座」の御案内

附属教育実践総合センターでは、山梨大学教師塾プログラム事業の一環として、『初任者元気アップ講座』を開催いたします。4月から新採用、期間採用、講師などとして教壇に立つ予定の学生や将来教員を希望している学生を対象に、学校現場の生の様子や教師としての心構え等について、小・中学校の現職の教員や学校長から話を聞くことができます。

春休みに入ってしまうので2月7日ですが、スケジュールに入れてみてください。

以下の日程で開催いたしますので、ぜひ、多くの学生さんに参加していただきたいと思っております。

- ◇期日 平成31年2月7日(木)
15:00~16:40
(受付は14:45~)
- ◇場所 N号館3階 模擬授業室
- ◇対象 4月から教壇に立つ予定の学生(4年生)
将来、教員を希望している学生(学年不問)
- ◇内容 ①現職教員による講座(小・中学校主幹教諭)
②現職学校管理職による講話(公立学校長)
③何でもQ&A
- ◇申込 J号館4階実践センターにて受付中
メールも可 jissen@ml.yamanashi.ac.jp
(学籍番号, コース・系, 氏名, 校種)

4月から現場で教壇に立つみなさんや
教職に興味のあるみなさんへ
現場の先生の生の声が聴ける
平成30年度山梨大学教師塾プロジェクト
『初任者元気アップ講座』開催!
附属教育実践総合センター事業

日時: 平成31年2月7日(木) 15:00~16:40
場所: N号館3階 模擬授業室
内容: ①現職教員(小・中学校)による講座
②学校管理職による講話
③何でもQ&A

対象者: ・4月から教壇に立つ4年生や院生
(新採用・期間採用・代替教員など)
・教職に興味のある学生や院生

申込み: J号館4階実践センター事務室にて受付中
メールでも可 jissen@ml.yamanashi.ac.jp
(学籍番号, コース・系, 氏名, 採用(希望)の校種と教科を記載)

今年度も開催決定!
申し込みをして、春休みの計画に入れておこう

昨年度の感想から
・とても楽しく、勉強になりました。ありがとうございました。
・どの話も、本当に自分のためになるものばかりでした。
・現場の先生が、直にお話しして下さることが、本当に魅力的でした。
・不安に感じていた部分が多かったので、現職の先生方のお話がとても心強かったです。来年度に向けて、やる気もUPしました。
・先生方の経験に基づく貴重なお話が聞けて、とても良かったです。

■平成30年度教育相談室連絡協議会が開催されました

10月31日に第2回教育相談室連絡協議会が行われました。大学教員、附属学校園の教育相談担当教員、附属学校園のスクールカウンセラーが集まり、各教育相談業務に関する情報共有と来年度の課題等について協議しました。附属学校園では、例年以上に教育相談のニーズが高まっており、附属幼・小・中に配属されているスクールカウンセラーと教育相談担当教員が連携をして教育相談活動を行っていることが報告されました。一方で、附属のカウンセラーの雇用費用に関しては、確保が年々厳しくなっていることから、保護者や地域に向けた広報活動を強化するとともに、次年度以降、附属学校園にお

ける教育相談活動のあり方について検討を進めていく必要があることが協議されました。

■第2回教職支援セミナー開催

附属教育実践総合センター教職支援室では、11月21日（水）に第2回教職支援セミナーを開催しました。前一宮西小学校校長、元山梨県総合教育センター副所長で、現在、山梨県立博物館勤務の内田淳先生を講師に迎え、「これからの道德教育とは」をテーマに講演を行いました。「道德教育とは何か」という基本的な事項の確認から始まり、教科化された「道德の時間」～特別な教科「道德」～について、そして実際に道德科の授業をどのようにつくっていくかについて、キーワードや構造図などを使いながら、非常にわかりやすく教えていただきました。当日は、学部の3、4年生、そして専攻科の学生・大学院生・内地留学生まで計23人が参加しました。内田先生は、これまでの実践をもとに、具体例を交えながら、穏やかな語り口の中にも、ご自身の道德に対する、また教育に対する熱い思いを感じるような講演をしていただきました。参加者は、「道德科」のキャッチフレーズである「考え、議論する道德」とは何なのかについて学ぶとともに、道德教材の読み取りから「中心発問」を考えるという作業に取り組むことによって、教職への意欲を高めることのできたセミナーとなりました。



[受講者アンケートから]

- 道德教育について、今まで難しいと考えてきたことが、すっきりと理解することができました。
- 道德教育は、学校教育全体で行っていくものであるということ学びました。
- 特別な教科である「道德」について、目標や内容の構造・授業の作り方など、大変参考になりました。
- 児童生徒の心を育てる道德科の授業のためには、道德科の基本を押さえつつ、題材に何を選ぶか等、要点がいくつもあることがわかりました。
- 子どもたちの意欲とも絡めながら、どう教えていくべきなのか、改めて考え直すことができました。
- 何が大切なのか、何を伝えたいのかということを考えながら、道德の授業をつくっていくことが大

切だと思いました。

- 中心発問についても、実際に取り組むことで、授業づくりのおもしろさを感じることができました。
- 指導案づくりの終末では、余韻を持たせることで生徒の心に響かせ伝えるという方法がとても良いと思いました。
- 今後、授業を行っていく上で、根本的な部分について、改めて学び直すことができました。授業において大切にしたい点を明確にし、来年度以降授業に臨みたいです。
- 新学習指導要領のポイントを示していただけたので、とても参考になりました。優しい語り口調で、子どもに話すときの「話し方」という意味でも参考になりました。

■「若手教員学習会（峡南地区）」が開催されました

今年度から山梨大学教育学部が推進している「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業（平成30年度文部科学省委託事業）」の一つである「若手教員学習会」が、先月の峡東地区に続いて、今月は峡南地区において、11月1日（木）に開催されました。

「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価－OPPシートによる学習・指導と評価の一体化－」と題して、身延町総合文化会館において、初任者からベテランまで地区の教員39名が参加し、充実した学習会を行うことができました。その内容を簡単にご紹介します。

まず初めに、山梨大学の理事・副学長である堀哲夫先生から、OPPA論の概要説明がありました。続いて、OPPAの実践者である、甲府市立甲府商業高等学校の谷戸聡子教頭先生による、英語科や道德での実践事例の紹介や、参加者相互の活動などがあり、さらに学習を深めることができました。最後に、参加者一人一人が、本日の学習会のOPPシートを作成し、自らの変容を確認することができました。

今回の学習会も前回同様、これからの教育評価の柱ともなるべきOPPAについて、わかりやすくまた楽しく学ぶことができました。

今後は、12月11日（火）に富士・東部地区（都留市まちづくり交流センター）、来年の1月17日（木）に中北地区（敷島総合文化会館）において、開催を予定しております。

[受講者のOPPシートから]

- 評価はもっと難しいものだと思っていたが、OPPシートを使えば一枚の紙でその児童の変容が見とれて、評価しやすくなると思った。そして評価は児童のためだけでなく、教師のためだけでなく、双方のためであり、お互いによりよく学んでいくためにあるのだと感じた。私もOPPシートを使ってみよう。
- 「問い」の重要性は知っていたが、具体的にどんな問いをすればいいのか分かっていなかった。今回OPPシートについて知ることで、本質的な問いを前後で投げかけることが子どもの成長の気付きにつながるようになった。
- 今まででは最初と最後が大切だと考えていましたが、最終目的地にたどり着くまでの過程も大切なのだと学ぶことができました。OPPAは成長だけではなく、生徒が抱えているつまずきにも気付くことができ、その課題を取り除くための自身の授業改善にもつながると分かりました。活用してみたいです。ありがとうございました。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見るすることができます。